

## コロナ禍における手話サークル活動の在り方と 聴覚障害者への関わり方についての調査のお願い

東京都手話サークル連絡協議会

コロナ禍で先の見えない日々が続いています。厚生労働省は、感染対策として新しい生活様式を提唱し、様々な場面での感染対策を提示しています。しかし、個人の自主活動として実施されるサークル活動については、政府機関からの支援はなく、活動をどのように開催すべきかの指針もないのが現状です。そのため、サークル活動の是非や感染拡大防止対策については、各サークルに依拠していると言わざるを得ません。

サークル活動は、ライフ・ワーク・バランスを調整するために重要な活動です。活動休止を余儀なくされたり、指針のないまま、試行錯誤でサークル活動を行うことへの不安など、それぞれのサークルが様々なストレスを抱えていることが想像されます。そのため、各サークルにおいて、会員がどのような不安を持ち、サークルに参加又は欠席しているのか、サークル開催に当たっては、どのような感染防止対策を行っているのかなどについて、多くのサークル間で情報共有が出来たらと思います。

また、手話サークルには、健聴者だけではなく、聴覚障害者も参加しています。手話サークルに参加する聴覚障害者は、自分自身が孤立しないようにコミュニケーションをとり、サークルから情報を取得したいという意欲を持ちながら参加している方もいます。しかし、コロナ禍においては、サークル活動を通じたコミュニケーションが取れずに、適切に情報取得が出来なかったのではないかと危ぶまれます。そのため、サークル活動に参加する聴覚障害者に対する情報提供などの支援の方法やコミュニケーションの取り方についても検討する必要があると考えられます。

このアンケートでは、以下の3点を把握し問題を明らかにすることで、活動方針や支援策を策定する基礎データを収集することが可能になると考えられます。

1. コロナ禍における手話サークル活動についての現状把握
2. 手話サークルに参加する人々のストレス状態の把握
3. 手話サークルにおける聴覚障害者への関わり方

調査は7～8分ほど掛かりますが、皆様の意見を集約することで、より円滑なサークル活動の運営に活用して頂けるものと思います。また、ご回答いただいた方々には、調査結果のフィードバックをいたします。

コロナ禍におけるサークル活動の実態を把握しようとする調査は現在まで見られず、非常に重要な知見となると思われます。是非とも多くの皆様のご協力をお願い致します。

### 調査方法

本調査は、医療創生大学 教養学部 地域教養学科でサークル活動の研究に従事されている高田治樹 講師に集計・分析等の協力を依頼し、Google Form を用いた Web 調査を実施する予定です。

ウェブ調査 URL : <https://forms.gle/UsrVkaEj5MPM39869>

※高田治樹氏の紹介は、次ページをご参照ください。

QR コード



## 調査における個人情報の取り扱いについて

本調査の調査項目において、個人が特定される可能性について不安を抱かれる方もいらっしゃるかと思いますので、個人情報保護の方法ならびに調査項目の必要性について説明させていただきます。

第一に、個人情報保護の方法についてご説明します。本調査は、サークルに所属する個人の回答を収集致しますが、個人ごとのデータは調査協力者以外に閲覧することはなく、個人の回答をそのまま公表することはありません。また、回答は鍵付きのロッカーに保管され、集計されたデータもファイルにパスワードをつけて保管致します。個人が特定されないことがないように十分な配慮を行って調査を実施致します。

第二に、調査項目のうち、年齢を伺う理由は、高齢の聴覚障害者との関わり方を明らかにする必要性からです。聴覚障害者への関わり方のうち、特に高齢の聴覚障害者が何を困っているのかを明らかにしたいと考えております。そのため、年齢について訊ねておりますが、具体的な年齢を尋ねる必要はなく、年代(20代前半や30代後半など)について訊ねさせて頂きたいと考えております。

また、分析の性質上、サークル集団の特徴(活動する地域や活動頻度、創立年度など)を伺わせて頂ければと存じます。

調査では不安な点もあるかと思いますが、個人情報保護については徹底して実施いたしますので、何卒、ご理解をお願い致します。

## 調査協力者の紹介

高田治樹氏(医療創生大学 心理学部 講師)

筑波大学大学院 人間総合科学研究科博士課程にて、「大学生サークル集団への態度変容過程の検討」博士(心理学)を取得後、立教大学キャリアセンター 助教、目白大学 人間学部 心理カウンセリング学科 講師を経て現職。サークル・部活に関する集団・組織心理学分野の研究を専門としています。また、手話サークルを対象とした活動では、第31回ならびに第32回の東京都手話通訳問題研究会において、社会人手話サークルに参加する方々を対象に、「魅力的なサークル集団とはなにか?」ならびに「サークル集団の円滑な運営とは?」という題目で講演を行っております。